

発行者 日本労務学会広報委員会
(委員長：三輪卓己)
<http://jshrm.scholars.jp>

日本労務学会会報 VOL. 103

2020. 5. 31

日本労務学会
【本部事務局】一橋大学 島貫智行研究室
【連絡先】日本労務学会リエゾンオフィス
〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 518 司ビル 3F
株式会社国際ビジネス研究センター内
TEL 03-5273-0473 FAX 03-3203-5964
E-mail: jshrm@ibi-japan.co.jp

NEWS

Japan Society of Human Resource Management

日本労務学会第 50 回全国大会の開催について

日本労務学会第 50 回全国大会

実行委員長 上林 憲雄（神戸大学）



日本労務学会第 50 回全国大会は、神戸大学を開催校として 2020 年 7 月 17 日～19 日の日程で、「日本の人事労務研究の将来展望」の統一論題の下、開催の準備を進めておりましたが、今般の新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、大会の枠組みを大きく変更せざるを得なくなりました。変更点は以下の通りです。

- 1) 第 50 回大会は、既に応募が完了し枠組みが決まっております「自由論題報告」に限定して開催致します。参集形式での大会とはせず、原則として zoom によるオンラインでの発表形式とする予定です（7 月 18～19 日）。なお、報告申込者のご意向によりオンラインでの発表をご辞退される場合でも、提出原稿が大会報告論集に掲載された場合には報告したものととして取り扱います。また、第 50 回大会の大会参加費は無料と致します。
- 2) 50 周年記念の特別企画（特別シンポジウム、50 周年準備委員会企画、産学連携企画、小池和男先生追悼セッション）は、可能な限り、準備を進めておりました内容や形態のまま、翌年度（第 51 回大会）へと延期させていただきます。したがって、第 51 回大会も、神戸大学を開催校とし、大会実行委員長とプログラム委員長もそのまま継続させていただくこととなります。
- 3) 第 51 回大会のプログラム内容は、延期した特別企画と新たに募集する自由論題とさせていただきます。

この間、島貫会長はじめ理事の先生方には多くのご相談をさせて頂き、温かいご支援を頂戴いたしました。ありがとうございました。

第 50 回大会は、開催方法が大きく変わる異例の大会となり、会員各位には大変ご不便をおかけ致しますが、何卒事情をご賢察いただけましたら幸いです。

なお、オンライン発表の詳細につきましては、決まり次第、学会ホームページ等でご案内させていただきます。

プログラム委員長挨拶

日本労務学会 第50回全国大会
プログラム委員長 江夏幾多郎

第50回全国大会の統一テーマは「日本の人事労務研究の将来展望」というものでした。これまでの研究を振り返り、これから研究者が何をなすのか、なすべきなのかを展望することを目指しておりました。こうしたテーマの下、種々の知的刺激を会員の方々に提供すべく、特別企画に関わっていただく先生方とも意見交換をしながら、プログラム委員会一同、企画の準備に取り組んできました。

しかし、こうした企画のご提供は、1年後に繰延となりました。私どもといたしましては、企画の内容が1年経っても古びるものとは考えておらず、内容を熟成させるいい機会と受け取っております。当初の構想と全く同じ形で展開できるとは限りませんが、会員の皆様の刺激となるよう、従来通り準備に邁進いたします。

我々プログラム委員会としては、大会実行委員会と共に、「日本の人事労務研究の将来展望」という旗印を7月の大会でも掲げ続けます。どのような状況でも研究の流れを止めない。そのために用いることができる手段を極力用いる。こうした想いのもと、鳥貫会長をはじめとした理事の先生方のご支援、ご尽力もいただきながら、全国大会を開催するということに至りました。自由論題報告のみに限定されることとなった今回の全国大会でも、オンラインでの発表形式を導入するという新機軸を盛り込むことで、統一テーマに沿った内容提供が可能になると信じております。また、ありがたいことに、オンライン化に伴う口頭報告申し出の辞退も発生しておりません。今後ますます普及するであろう新たな研究実践手法の可能性を、報告者、コメンテーター、司会、そして聴衆たる先生方とともに探ってゆければと祈念しております。

大会の概要については大会実行委員長からのご挨拶にもありますし、詳細は追って学会ホームページ等で案内させていただきます。が、ここでは、懇親会についても開催する計画であることをお伝えしたいと思います。昨今、いわゆる「Zoom 飲み会」など、オンラインでのコミュニケーションツールを用いた懇親の場が増えおり、実際に活用されている会員の先生方も多いでしょう。オンライン懇親会を行うことで、ネットワーキングという学会の重要な機能について、今年も提供します。異例の事態が続き、慎重な対応が求められる局面が多いのは確かです。が、プログラム委員会としては、そうした状況をむしろ楽しめる機運も、同時に醸成していきたいと考えております。

日本労務学会 第50回全国大会プログラム

〈統一論題とシンポジウム〉
日本の人事労務研究の将来展望

日 時：2020年7月18日（土）～7月19日（日）

開催校：神戸大学（六甲台キャンパス）

（大会日程概要）

7月18日（土）	
09:50～12:00	自由論題報告
13:00～15:10	自由論題報告
15:30～16:45	会員総会
17:00～18:30	懇親会
7月19日（日）	
09:50～12:00	自由論題報告
13:00～15:10	自由論題報告

※全ての項目を、ビデオ会議システムを用いたオンライン形式で行う。

7月18日（土）

神戸大学六甲台キャンパス

09:50～12:00 自由論題報告：報告25分、コメント5分、質疑10分

A-1 セッション HRM-業績リンク

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
09:50 ～10:30	千田直毅 (神戸学院大学)	竹田次郎 (同志社大学大学院)	人的資源管理論批判に関する一考察 － Fleetwood and Hesketh (2010) を中心に	松山一紀 (同志社大学)
10:35 ～11:15		穴田貴大 (名古屋大学大学院)	人事管理の整合化について ー 人事担当者の 実践から	松山一紀 (同志社大学)
11:20 ～12:00		大曾暢烈 (名古屋経済大学) 櫻井雅充 (中京大学)	働き方に関する施策の知覚が従業員の心理に 与える影響 ートラックドライバーのアイデ ンティティ志向性に着目して	島貫智行 (一橋大学)

A-2 セッション 労働時間の経済分析

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:35 ～11:15	勇上和史 (神戸大学)	藤井英彦 (大阪大学大学院)	長時間労働が仕事満足度に与える影響に関するパネル分析	小林 徹 (高崎経済大学)
11:20 ～12:00		小泉大輔 (横浜市立大学) 黒木 淳 (横浜市立大学)	営業職における労働時間と業績に関する実証分析	勇上和史 (神戸大学)

A-3 セッション 能率性の組織心理学

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
09:50 ～10:30	庭本佳子 (神戸大学)	古田克利 (立命館大学)	ソフトウェア開発のプロジェクト特性と職務満足の関係 – 課題解決型、価値創造型の視点から	三輪卓己 (京都産業大学)
10:35 ～11:15		田村祐介 (神戸大学大学院)	被評価者への人事評価のフィードバックに関する理論的研究	上林憲雄 (神戸大学)
11:20 ～12:00		馬場杉夫 (専修大学)	個が活かされていない現象とその問題	上林憲雄 (神戸大学)

A-4 セッション 人事管理の各論

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
09:50 ～10:30	田中秀樹 (同志社大学)	余合 淳 (名古屋市立大学)	働き方に関する人事施策と従業員の受容 – 労働時間と勤務形態に着目して	厨子直之 (和歌山大学)
10:35 ～11:15		柿沼英樹 (流通科学大学)	人的資源管理研究におけるタレントマネジメントの位置づけ – 計量書誌学的分析による検討	厨子直之 (和歌山大学)
11:20 ～12:00		三浦友里恵 (一橋大学大学院)	経営統合における人事部門の役割 – 百貨店2社の事例研究	田中秀樹 (同志社大学)

13:00～15:10 自由論題報告：報告25分、コメント5分、質疑10分

B-1 セッション ダイバーシティ

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
13:45 ～14:25	余合 淳 (名古屋市立大学)	武石恵美子 (法政大学)	ドイツ・スイス企業におけるダイバーシティ・マネジメント (1) – ダイバーシティ推進における人事管理の課題	横山和子 (東洋学園大学)
14:30 ～15:10		坂爪洋美 (法政大学)	ドイツ・スイス企業におけるダイバーシティ・マネジメント (2) – 多様な部下に対する管理職のマネジメント行動	平野光俊 (大阪商業大学)

B-2 セッション 多様な正社員

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
13:45 ～14:25	江夏幾多郎 (神戸大学)	國府俊一郎 (大東文化大学)	雇用区分制度は正社員の定着に影響を与えるか －大手外食チェーン5年間の観察から	松浦民恵 (法政大学)
14:30 ～15:10		平本奈央子 (一橋大学大学院)	限定正社員に関する既存研究レビュー －限定正社員の賃金と満足度を中心に	江夏幾多郎 (神戸大学)

B-3 セッション 大学教育

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
13:00 ～13:40	千田直毅 (神戸学院大学)	宮下 清 (長野県立大学)	地方大学にみる人材育成の変化と意義 －地域系学部設置と役割について	平尾智隆 (摂南大学)
13:45 ～14:25		北村雅昭 (大手前大学)	短大生の進路選択自己効力感がキャリア成熟に与える影響	林 祐司 (東京都立大学)

B-4 セッション 労使関係史

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
13:00 ～13:40	梅崎 修 (法政大学)	八代充史 (慶應義塾大学)	日産＝ルノーアライアンスと雇用・労使関係 －所有形態の変化と日本の雇用制度	上田眞士 (同志社大学)
13:45 ～14:25		久米功一 (東洋大学) 山岡順太郎 (神戸大学)	高度成長を支えた養成品は何を経験したか －三菱電機神戸製作所養成品に対するライフ ヒストリー調査から	島西智輝 (東洋大学)
14:30 ～15:10		田中あや (高齢・障害・ 求職者雇用支援機構)	1850年代におけるアメリカ鉄道会社の労働 環境と課題 －American Railroad Journal の 分析を中心に	島西智輝 (東洋大学)

B-5 セッション 国際人的資源管理

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
13:00 ～13:40	服部泰宏 (神戸大学)	陳 燕双 (同志社大学)	トヨタ中国工場における現場主義的人材育成	白木三秀 (早稲田大学)
13:45 ～14:25		塗茂克也 (新潟経営大学)	ベトナム日系中小企業における仕事環境とコミットメントの関係 －製造業2社の事例から日本企業との比較を通じて	白木三秀 (早稲田大学)
14:30 ～15:10		中川有紀子 (立教大学)	HUAWEI (華為) の176カ国グローバル展開戦略を支える人と組織のマネジメント	蔡 芒錫 (専修大学)

7月19日(日)

神戸大学六甲台キャンパス

09:50～12:00 自由論題報告：報告25分、コメント5分、質疑10分

C-1 セッション 雇用システム制度

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
09:50 ～10:30	田中秀樹 (同志社大学)	石塚史樹 (東北大学)	独企業の人的資源管理の現状 - 世界金融危機後における変化	大藪 毅 (慶應義塾大学)
10:35 ～11:15		内田恭彦 (山口大学)	価値創造メカニズムと雇用システムの相補性 - 経営組織の類型化の試み	大藪 毅 (慶應義塾大学)
11:20 ～12:00		丸子敬仁 (神戸大学大学院)	Marsden による「雇用システムの理論」の検討 - 職能ルールに着目して	佐藤 厚 (法政大学)

C-2 セッション マクロ労働

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
09:50 ～10:30	鈴木竜太 (神戸大学)	塚崎裕子 (大正大学)	仕事と国内人口移動からみえるキャリアと世代効果	風神佐知子 (慶應義塾大学)
10:35 ～11:15		宇都宮譲 (長崎大学)	衛星写真を用いた労働力賦存状況推定 - タイおよびベトナムにおける事例をもとに	風神佐知子 (慶應義塾大学)

C-3 セッション 内部労働市場の経済分析

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
09:50 ～10:30	勇上和史 (神戸大学)	小林 徹 (高崎経済大学) 山本 勲 (慶應義塾大学)	PC を使用した情報処理スキルと賃金 - 情報処理スキルや GRIT 変数を用いた賃金関数による分析	熊迫真一 (国士舘大学)
10:35 ～11:15		平尾智隆 (摂南大学)	スキル・ミスマッチと仕事満足の関係 - 残された課題の検討	富田安信 (同志社大学)
11:20 ～12:00		柿澤寿信 (大阪大学)	内部労働市場における労働者の先験的選好の影響 - 企業内パネルデータによる分析	熊迫真一 (国士舘大学)

C-4 セッション 働き方

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
09:50 ～10:30	余合 淳 (名古屋市立大学)	西久保浩二 (山梨大学)	介護との両立に伴う労働生産性損失とその影響要因	余合 淳 (名古屋市立大学)
10:35 ～11:15		大平剛士 (大阪商業大学) 細見正樹 (関西大学) 加納郁也 (兵庫県立大学)	職場環境が在宅勤務利用に対する上司の態度に与える影響	武石恵美子 (法政大学)
11:20 ～12:00		細見正樹 (関西大学) 大平剛士 (大阪商業大学) 川口 章 (同志社大学) 加納郁也 (兵庫県立大学)	在宅勤務制度の利用促進に関連する職務特性	武石恵美子 (法政大学)

13:00～15:10 自由論題報告：報告 25 分、コメント 5 分、質疑 10 分

D-1 セッション 近年の労使関係

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
13:00 ～13:40	江夏幾多郎 (神戸大学)	西尾 力 (國學院大學大学院)	組合活動活性化への仮説探索 -「領域 A」における個別的労使関係での分権的組合活動	南雲智映 (東海学園大学)
13:45 ～14:25		中村天江 (リクルートワークス研究所)	集団から個人に移る労働者の“Voice” -5 カ国比較調査にみる日本の現状	田口和雄 (高千穂大学)
14:30 ～15:10		山口 壘 (法政大学大学院)	技能実習制度の性格とその変化の方向 -2 つの二重構造との関連を手がかりに	梅崎 修 (法政大学)

D-2 セッション 組織行動の各論 (1)

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
13:00 ～13:40	鈴木竜太 (神戸大学)	高階利徳 (兵庫県立大学) 開本浩矢 (大阪大学)	対人援助業務人員の感情労働と心理的資本が組織定着と職務成果に及ぼす影響	野村佳子 (摂南大学)
13:45 ～14:25		橋村政哉 (広島国際大学)	健康経営研究の展開と人材活用に向けての課題	横井豊彦 (大阪商業大学)
14:30 ～15:10		戸田信聡 (奈良佐保短期大学)	リーダーシップの使用理論はどのように形成・改訂されるのか? -X 社に見るリーダーの使用理論の形成・改訂パターンと要因	野村佳子 (摂南大学)

D-3 セッション 組織行動の各論 (2)

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
13:00 ～13:40	服部泰宏 (神戸大学)	佐藤佑樹 (流通経済大学)	インクルージョン風土は知識共有行動を高めるのかー心理的安全の媒介効果に注目して	上野山達哉 (大阪府立大学)
13:45 ～14:25		梅崎 修 (法政大学) 藤澤広美 (立教大学) 廣川佳子 (立教大学)	集团的創造性を生み出すチーム・コミュニケーション・スキル尺度開発の試み	上野山達哉 (大阪府立大学)
14:30 ～15:10		中畠 剛 (千葉経済大学)	若手社員の「とりあえず正社員」意識と職業キャリア意識の関連	服部泰宏 (神戸大学)

D-4 セッション 上司部下関係

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
13:00 ～13:40	庭本佳子 (神戸大学)	岡嶋裕子 (大阪大学) 松繁寿和 (大阪大学) 柿澤寿信 (大阪大学)	上司による部下への支援行動と部下の職務満足についての考察：上司が実行した支援行動と部下が認知した支援行動に着目して	竹内倫和 (学習院大学)
13:45 ～14:25		岸野早希 (九州大学) 平野光俊 (大阪商業大学)	働き方改革の推進に伴う育成における上司と部下の関わり方の変容に関する研究	竹内倫和 (学習院大学)
14:30 ～15:10		永田正樹 (北海道大学大学院)	部下の育成のためのリフレクション支援ーマネジャーによる部下育成行動の質的分析	庭本佳子 (神戸大学)

参加要領

1. 申込方法

大会に参加される方は以下の手順でお申し込みください。

- (1) 専用の WEB サイトにアクセスしてください。会員によるアクセス・申し込みを、6月30日まで受け付けおります。

<https://forms.gle/ANfBYXHnv3jftZ9v5>

- (2) WEB サイト上で、必要事項（氏名、所属、連絡先、参加希望セッション等）のご入力をお願いします。

※今回の全国大会の参加資格は、原則として会員のみに限定されます。非会員による申し込みの詳細は、6月中旬頃以降に、本学会ウェブサイトに掲載します。



2. 参加費

無料といたします。

3. 参加の方法

今大会では、ビデオ会議システムとして Zoom を利用します。また、自由論題の原稿は、全国大会専用のウェブサイトでご覧、ダウンロードしていただきます。原稿の電子化は、新型コロナ対策であると同時に、2019 年 11 月の理事会決議事項に沿ったものでもあります。

大会 1 週間前から大会当日まで、全国大会専用のウェブページにて、プログラム全体を一覧できる表を設けます。各自由論題報告の原稿へのリンクは、上記の表に埋め込んであります。各原稿の閲覧は大会 1 週間前から、ミーティングルームへの入場はセッション開始 15 分前から、それぞれ行えます。総会および懇親会のミーティングルームについても、同様です。

ミーティングルームおよび原稿へのアクセス権限は、期限内に参加申し込みをされた方々に限り、付与されます。申し込みをされた方々に、全ミーティングの ID とパスワードのリスト、および原稿ファイルにアクセスするためのパスワードをメールでお伝えします。期限（6 月 30 日）の参加申し込みを、何卒よろしくお願い致します。

懇親会もオンライン形式で開催します。オンライン形式ならではの交流の場を設けさせていただきますので、奮ってご参加ください（事前申し込み不要）。

なお、大会に先んじて、報告者とコメンテーターの方を想定した、オンライン発表の「練習会」を行います。その後、発表者以外の大会参加者も対象とした「練習会」も、別日に行います。詳細は会員向けメールで改めてお伝えします。

4. 参加者へのお願い

- 口頭報告は、従来と同様、一報告につき、報告 25 分、コメント 5 分、質疑 10 分で構成されます。
- 報告やコメント、質疑応答を円滑に行うため、感染リスクに注意を払いつつ、極力通信環境の良い場所でご参加ください。
- 司会および報告者を除く参加者の方々には、会場運営係の方でマイクのミュートを設定させていただきます。質問やコメントは、チャットで行っていただきます。報告者や司会の意向により、質問やコメントをされた方々に実際に発話していただくこともあります。
- 報告者を中心とした参加者の著作権や肖像権を保持するという観点から、受信映像の録画・録音・画面キャプチャは厳に禁止させていただきます。
- 大会実行委員会としても万全を尽くす所存ではありますが、初めての運営形式ということもあり、何かとご不便をおかけする点もあるかもしれません。全ての要望にお応えできるとは限らない旨、ご了解ください。

第 50 回大会実行委員会

実行委員長：上林憲雄

実行委員：江夏幾多郎、島田善道、鈴木竜太、千田直毅、庭本佳子、服部泰宏、勇上和史

連絡先：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1

神戸大学大学院経営学研究科上林憲雄研究室気付

「日本労務学会第 50 回全国大会実行委員会」

メールアドレスは会員名簿の上林の項をご参照下さい。